

# 四谷の

# 千枚田だより



第194号

学生達が田んぼの保護を訴える「油谷こどもミュージカル」

## 第二十五回全国棚田(千枚田)サミットに参加して

十月十四日・十五日、山口県長門市で開催されたサミットに保存会から高橋孝行、松下誠、原田英史、田中幸夫、小山舜二の五名が参加、棚田における諸問題に全国から訪れた(八百人規模)棚田関係者と意見交換、交流を深めた。

関東、東北に甚大な被害を齎した台風十九号、当日の朝交通機関は全面ストップ、早朝四時半、兎も角出かけたが飯田線は運休、車で豊橋駅に到着、さて駅内はすべてシャッター。情報を得ることもなく、只待つのみ、そんなこんな不安の中、静岡発の一番列車「こだま」が軌道点検しながらの徐行運転で出発したとのアナウンス。サミット会場には一時間遅れで何とか到着した。

今回は棚田の魅力を再発見、美しいふるさとを未来へくをテーマに開催。長門市は日本海に浮かぶいさり火との共演が見どころの東後畑棚田を見学コースに、中国地方では初の開催となった。

オープニングでは、長門市の小中

を演目に披露。開会式典では第二十四回開催の小谷村中村義明村長(同協議会会長)が「棚田地域振興法」が施行された今年、地域の棚田をどう守るか議論することが必要。素晴らしい景観を残し、後世に受け継ぐことを考えて議論してほしいと挨拶があった。

第一分科会 棚田を守る多様な「担い手」第二分科会 棚田を核とした地域振興 第三分科会 地域の誇り棚田の「再生」と三分科会で議論がなされた。保存会から高橋孝行、松下誠、原田英史、田中幸夫が第一分科会に参加。(舜)は中島先生(棚田保存の第一人者)の指名もあり特別分科会(守り人ミーティング)へ参加、ここでは農水省松本部長さんから今回成立した「棚田地域振興法」について我々棚田を守る百姓には心温まる説明があった。(この法案には昨年、自民党政務調査会から意見を求められ、高齢化に伴う棚田保全の五年間の縛りはあまりにもきつい、縛りを緩めることが保存に繋がる。等々の回答をした)。

交流会の席で松本部長さん、地元

新城出身の黒田課長補佐さんと「棚田地域振興法」について忌憚の無い意見をぶつけあうことができた。また、安倍晋三首相の妻、昭恵さんと名刺交換、握手、お喋りをし、周囲から羨ましがられました。事例発表で昭恵さんは県立大と企画した「光の棚田」をテーマとした「農作業もおしゃれに」のファッションショーに学生、タレントら四十人と舞台に登場、若者や女性に新たな農業スタイルを提案した。



二日目の現地視察、東後畑棚田は日本海に面し、天水を利用した棚田でロケーション的には素晴らしい



が、やや、休耕、荒廢地が目立った。東後畑棚田の下方には百二十三基の赤い鳥居が印象的な「元乃隅神社」、洞穴から三十基も潮を噴き出す「竜宮の潮吹」があり、ついで見学してきた。

来年の第二十六回サミットは山形県大蔵村「四ヶ村の棚田」で九月十日〜十一日に開催される。

四ヶ村の棚田は出羽三山の主峰「月山」の麓に広がる百二十五鈔に及ぶ広大な棚田「耕して天に至る」の保存委員会から旨い酒もあるから...とお誘いがあった。



## 愛知広報誌

G20 愛知・名古屋外務

大臣会合版広報誌への  
協力



十一月二十二日、二十三日、名古屋市に於いてアルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、メキシコ、韓国、南アフリカ共和国、ロシア、サウジアラビア、トルコ、英国、米国の19ヶ国に加え、欧州連合(EU)の首脳が参加したG20国際会議が開催される。

そのサミットの広報誌(英語版、日本語版)に愛知県の産業、自然環境などを紹介するページに四谷の千枚田も掲載されている。

なお、九月十八日から随時配布されている「愛知の引力」(日本語、英語、中国語)第五版に於いても第一版から写真を提供している。

## 脱穀

十月十日、豊橋調理製菓専門学校(学生十六名)たちが一年間手塩をかけて育てた稲作体験学習の最終編「脱穀」が行われた。

脱穀を終え、新城市鳳来総合支所肥田主事のねぎらいの言葉、(舜)の今年の天候に悩まされた稲作状況

と将来、食のプロとなる学生たちに励ましのエールを贈った。学生からはお礼の言葉とともに一年間お世話になった文集(全員を戴き、「おじさん：ウルウルだらあ」と、共に目頭を熱くした。



## 千枚田絵画コンクールの審査

主催 鞍掛山麓千枚田保存会 東三河郵便局 後援 新城市教育委員会 新城市 新城市観光協会 奥三河観光協議会

十月十八日、旧連谷小学校を審査会場に主催、後援の皆さんは同校で教鞭を執ったこともある中川克夫

## 収穫感謝祭 予告

～さぁ つかまい 感謝を込めて 餅つきを～

開催期日 令和元年12月8日(日)  
午前10時～午後2時まで  
開催場所 四谷の千枚田「ふれあい広場」  
皆んなでついた餅 シシ汁 焼肉(鳥長)  
五平餅 その他もろもろ

主催 鞍掛山麓千枚田保存会  
共催 棚田っ娘&地域の皆さん  
ふるさと指導員 河西 忍 の愉快的仲間

さんを審査長に応募総数二百五十枚から入選者を厳選した。  
最優秀賞 五名 五平餅セット・新米5kg・図書券、優秀賞 十名 五平餅セット・新米2kg・図書券、入賞 三十五名 五平餅セット・図書券の景品発送。作品は長篠郵便局を皮切りに市内各郵便局で展示する。  
<http://kokukome.cim/>  
なお、この企画は千枚田の保存継承に絶大な応援、支援をいただいている(株)丸八製菓鈴木社長さんの心意気で実施しているものです。

## 三遠南信サミット in 信州

十月三十日、飯田市文化会館を会場に第二十七回三遠南信サミットが開催された。今回は、「新たなビジョンの始動」を将来に向けて今すべきこととして、地域住民、大学・研究機関、経済界や行政関係者が一堂に会し、三遠南信地域を一体的に振興するために実効性のある取り組みについて議論を深めた。

このサミットの住民セッションで(舜)は「獣害と暮らし」について提議した。

## 環境整備

保存会は十月二十七日、千枚田入り口付近とふれあい広場などの草刈り作業を実施した。

## 古米の出荷

十月二十四日、郵便局の宅配便などで千枚田五平餅として全国展開している(株)丸八製菓さんに余剰米である古米を出荷した。

## 今後の予定

・十一月一日、浜ゴムへの糞出荷  
・十一月十日、連谷公民館主催  
ふるさとウォーキング

行 令和元年十一月一日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文責 小山舜二